

2020年11月1日6日

親愛なる読者、

ロンドン・ブリード市長と保健局長のグラント・コルファックス博士は**本日**、サンフランシスコでのCOVID-19感染率の大幅かつ急速な増加により、市が再開を調整すると**発表**しました。制限的なレッドティア。市は一時的にすべての不要なオフィスの再開をロールバックし、フィットネスセンターとジムの容量を最大10%に減らします。これらの変更は、**2020年11月1日火曜日**に有効になります。

次のアクティビティは、追って通知があるまで屋内操作を停止します。

- 必須ではないオフィス。オフィスは、**100%**リモートおよびテレワーク操作に戻る必要があります。

屋内容量を減らすには、次のアクティビティが必要になります。

- フィットネスセンター（ジム、ホテルのフィットネス施設、クライミングウォールを含む）は、**10%**の容量で開いたままになる場合があります。

現在許可されている他のすべてのビジネスや活動は、屋外ジムやフィットネスセンター、屋外での食事や持ち帰り、小中学校、小売店での買い物、パーソナルサービス、文化や家族の活動など、現在適用されるガイドラインの範囲内で今回も引き続き運営できます。美術館や水族館として。

サンフランシスコは、ウイルスの伝播が最小限である最も制限の少ない黄色の層からウイルスの伝播が多いレッド層に割り当てられた**ため**、カリフォルニアの**より安全な経済層**の割り当ての**青写真**に準拠してこれらの活動をロールバックしています。例において広範な上昇に対応するため、国は、その再開ティアの割り当てを変更していることの郡に通知しました。月曜日に、58の郡のうち41が最も制限の厳しいパープルティアに割り当てられ、多くのビジネスや活動が禁止されます。

さらに、公衆衛生局は**旅行勧告**を発表し、サンフランシスコに旅行を控えるように促し、**旅行**を選択した人には14日間の検疫を推奨しました。カリフォルニア州とその他の国々で事件が増え続けているため、この勧告に従うことはさらに重要です。市は、サンフランシスコ市民が集会を避け、家を出るときは顔の覆いを着用し、他の人との距離を保ち、気分が悪い場合はCOVID-19の**検査を受けること**を強く推奨します。

サンフランシスコの再開タイムラインの詳細については、<https://sf.gov/step-by-step/reopening-san-francisco>をご覧ください。

今後のウェビナー：

経済労働力開発局は、**換気に関する要件**やその他の最近の健康秩序の変更をカバーするための**ベストプラクティスウェビナー**を主催します。この有益で機知に富んだウェビナーは、**2020年11月19日木曜日の午前11時30分**に開催されます。プレゼンターは次のとおりです。

- Joaquín Torres、経済労働力開発局長、
- マギーウェイランド、サンフランシスコエンターテインメント委員会ディレクター、
- 公衆衛生局代表、
- サンフランシスコ市弁護士事務所

[今すぐ登録](#)して、ビジネスが現在の[健康命令](#)と[指令](#)に準拠して[いる](#)ことを確認してください。

このウェビナーに関連する情報：

[よくある質問：一般的な換気](#)

[一般向けの情報とガイダンス](#)

[必要なPACのサイズを決定する際に消費者を支援します](#)

[ACHやCABRなどの換気用語について説明します](#)

するには、**日付まで滞在**COVID-19関連の発表やリソース上で、当社の電子ニュースにサインアップ
<https://sfosb.org/subscribe-small-business-e-news>。

連帯して、

中小企業のオフィス